

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		研究科造園学専攻		
科目名称	都市景観特論Ⅰ							授業形態	講義・演習	
科目コード	642451	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	平岡 直樹								ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は、まず景観に関する概念、用語、考え方などの基礎知識を再確認することである。 次に、景観を分析、予測、評価する上で欠かせない手法等を学ぶ。 さらには、社会思潮や自然観、環境観の推移と密接な関係を持つ景観の把握手法、操作論の展開を概観する。									
関連する科目	学部の庭園に関わる授業を受講し、しっかりと復習しておくことが望ましい。履修後は、都市景観特論Ⅱを履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	配布資料等で景観や地域にかかわる基本概念や基本知識を再確認する。必要に応じて学外に出て対象とする景観を構成する現地を視察し、計測や評価を行います。データ等は持ち帰り整理、解析等を行う。 ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をするなどアクティブラーニング型の授業を行う。									
授業計画	都市景観に関する知識や技術について理解を深める。									
授業の到達目標	1) 授業を通じて、景観についての幅広い知識を身に付ける。 2) 空間を把握し、計画する上でに不可欠な素養を高める。									
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1) 食・緑」の専門分野における高度な知識・技能／1. 知識・技能と教養-(2) 未知問題解決のために知識・技能を創造的に活用できる。／2. 人間力・社会性・国際性-(1) 豊かな個性を発揮して課題を発見し、探求することができる。									
授業時間外学習【予習】	指定する都市景観に関する書籍を読み込んでおく。									

授業時間外学習【復習】	授業の内容を振り返り、自ら調べることによって疑問点等を解決する。
課題に対する フィードバック	課題等は確認した後に返却する。必要に応じてコメントする。
評価方法・基準	受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーションなどについて総合評価する。
テキスト	関連書籍及び関連論文
参考書	授業において提示する。主なものを以下に挙げておく。 ①『景観用語事典 増補改訂版』篠原修編・景観デザイン研究会彰国社、2007 ②『景観と意匠の歴史的展開』馬場俊介監修 信山社サイテック（1998）
備考	